



# としょだより

令和2年 11月  
細谷小学校 図書室

朝夕の冷え込みが厳しくなり、日ごとに早くなる日の入りとともに、秋の深まりを感じます。11月は読書月間です。細谷小学校の図書室では、読書月間イベントとして読書ビンゴや高学年向けの中南米のセットを国立国会図書館よりかりて、展示をしています。普段は読まないような本も、手にとって読むことで新たな発見があります。色々な分野の本にチャレンジしてみてくださいね。

ほそやしやう どくしょげっかん  
**細谷小 読書月間 11/2~11/30**  
ねんきやうしつ ろうか ちゅうなんべい てんじ  
**6年教室の廊下で中南米セットの展示をしています**



いぜん おな しょうがっこう  
以前に同じセットをかりた小学校から

どくしょゆうびん とど  
読書郵便が届いています。



かがわけんまるがめし  
香川県丸亀市

まるかめしりつ しろいぬいしょうがっこう  
丸亀市立 城乾小学校より

おうちの方も子どもたちと一緒に読書を楽しみませんか？

図書室より、おうちの方におすすめの本



『お母さん、ぼくが生まれてごめんなさい』

向野 幾世/ 著

生まれたときから重度の障害を持った少年が、一生懸命に明るく生きた15年間の生涯。その死後、この詩が世間に与えた感動の輪などを余すことなく描いた愛と感動のノンフィクションです。

(本文より) ごめんなさいね おかあさん ごめんなさいね おかあさん ぼくが生まれて ごめんなさい ぼくを背負う かあさんの 細いうなじに ぼくはいう ぼくさえ 生まれなかったら かあさんの しらがもなかったらうね

母を思う息子の気持ちが込められた、冒頭の歌い出しですが、母もまた息子を心から想う詩をかえしています。親子の深い愛情が胸を熱くする1冊です。



『夜明けのすべて』

瀬尾 まいこ/ 著

病気をかかえながらも互いに相手を思い、自分の病気は治せなくても、相手を助けることができるのではないかと考え、関わりを深めていく2人。読み終わった後には、「明日は今日よりもいいことがあるはず」と前向きな気持ちにさせてくれる作品です。

昨年度の本屋大賞に選ばれた『そして、バトンが渡された』もおすすすめです。作者の言葉の数々に、癒しが宿っています。